

同窓会 これではいいのか

特集

取材旅行 支部訪問

同窓会の目的と 本部の任務を探る

同窓会とは何ぞい。同窓会とは、その目的が、同窓生が卒業後、互いに連絡をとり、互いに助け合い、互いに励みあう、これが同窓会の目的である。同窓会とは、同窓生が卒業後、互いに連絡をとり、互いに助け合い、互いに励みあう、これが同窓会の目的である。同窓会とは、同窓生が卒業後、互いに連絡をとり、互いに助け合い、互いに励みあう、これが同窓会の目的である。

本部、支部間の連絡 未熟な連絡網

本部、支部間の連絡は、未熟な連絡網である。本部、支部間の連絡は、未熟な連絡網である。本部、支部間の連絡は、未熟な連絡網である。本部、支部間の連絡は、未熟な連絡網である。本部、支部間の連絡は、未熟な連絡網である。

会員名簿の発行 会員の協力が必要

会員名簿の発行は、会員の協力が必要である。会員名簿の発行は、会員の協力が必要である。会員名簿の発行は、会員の協力が必要である。会員名簿の発行は、会員の協力が必要である。会員名簿の発行は、会員の協力が必要である。

機能果せない 医師派遣窓口

医師派遣窓口は、機能果せない。医師派遣窓口は、機能果せない。医師派遣窓口は、機能果せない。医師派遣窓口は、機能果せない。医師派遣窓口は、機能果せない。

支部訪問を顧みる

望まれる支部の団結

支部訪問を顧みる。望まれる支部の団結。支部訪問を顧みる。望まれる支部の団結。支部訪問を顧みる。望まれる支部の団結。支部訪問を顧みる。望まれる支部の団結。支部訪問を顧みる。望まれる支部の団結。

秋田県支部

問記



秋田県支部会

秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。秋田県支部会。

新発売!



ついに わが国でも完成した
V.B1+V.B6+V.B12高単位合剤
ヨーロッパで、神経機能回復に活用されているV.B1・
B6・B12の合剤がわが国にも登場しました。
すでに定評あるピオタミンをはじめ、V.B6・B12を高
単位の配合した強力な製剤です。
神経系疾患、リウマチ性疾患、無力症、各種貧血の治
療に、ユニークな効果をご活用ください。

●神経機能賦活剤
ピタメジン
(1カプセル中:ピオタミン25mg/V.B625mg/V.B1250μg)
包装 500カプセル 1,000カプセル

三井物産株式会社

プレドニゾンより

7~10倍強力!!

ドイツ・シエリングのデキサメサゾン製剤

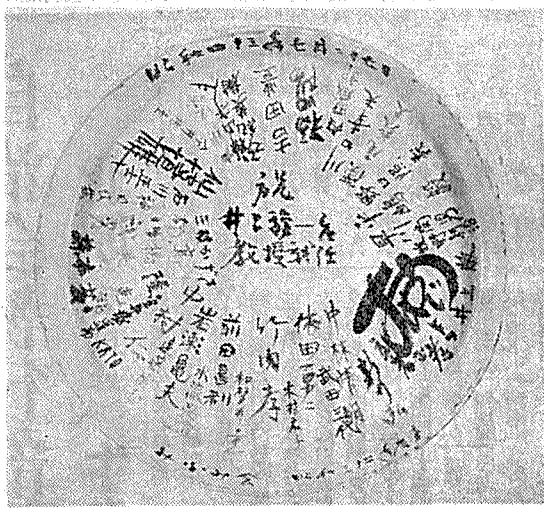
デキサ・シエロソ

錠・注(健保採用)

日独薬品株式会社

千葉営業所(22)5615

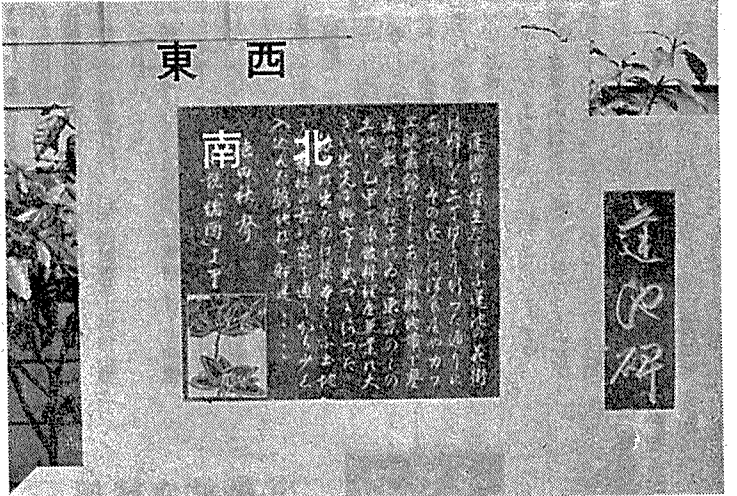




卒業直後のクラス会でその名も、聖賢堂にて、故鈴木次郎教授前に開業したという院長など多士「みふみ会」と称し、年一回は集の後任として、同級の井上駿一君が、その会にきよめをなす。まうとの堅い約束をかわした同が、整形外科教授に選出され、就筆吉につくし難たい。井上新教授の健闘を期し同期生一同で慶山窓の「紀事」を贈呈した。(幹事 仙波、高橋、神田)

「みふみ会」にぎやかに

井上教授就任を祝って



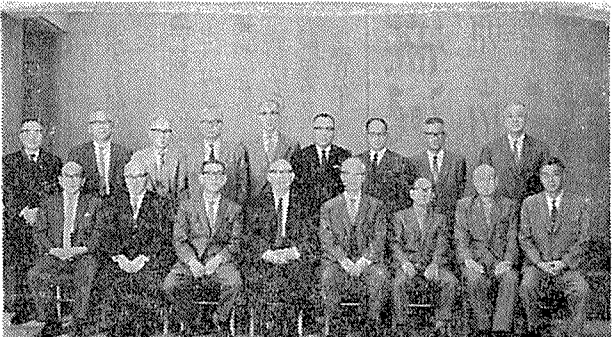
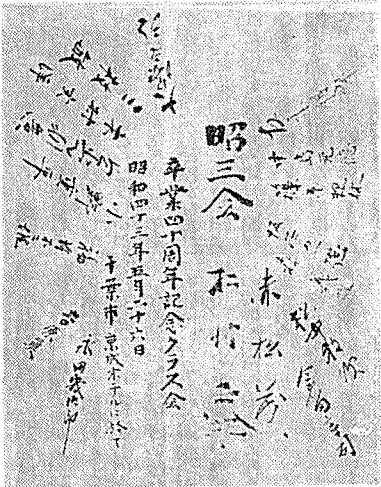
蓮池の碑
蓮池は猛者もの夢の跡である。今は往時のおもかげもないが、吾妻町の小地帯で露路に面して待合料理屋、茶屋などがならんで、た柳暗花明の巻であった。かつてこの一画にお不動さんがあり、花柳界の信仰をあつめていたものであったが、今は大通りの筋間に移され知る人も少なくなった。昨年五月、このひっそりとした境内に往時を記念する「蓮池の碑」が建立された。徳田秋声の「箱園」は蓮池が舞台である。

昭三会盛大に開かる

卒業四十周年を記念して

昭和四十二年五月十六日(日)卒業四十周年記念クラス会を出発の地千葉市に於て開催、恩師松村先生、赤松 茂先生の御臨席を得て盛会裡に初夏の夕を過すことが出来ました。記念写真及び寄書を送り致します。

昭和四十二年六月十八日
昭三会 幹事
木村玄洋 貞光利造 中島元徳
倉田康司 齋原操休



昭三会出席者



55会出席者

名称も新たに「55」会

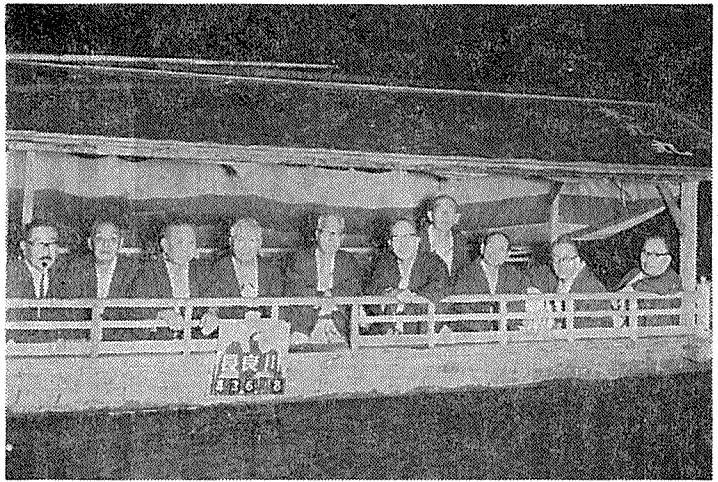
永野教授誕生を機に

大正七年卒業生(七十四名)のした。うち昭和四十二年六月現在生存者二十九名で五十年間に死せるもの四十五名である。二十九名の生存者のうち十名が岐阜へ集り、(四三、六、八)その夜は鶴岡を見て、旅館に泊し翌朝一同養老の滝(行き掛水後で屋敷)、岐阜駅にて解散しました。

七月十日、昭和四十二年卒業生、卒業生を主として開かれた。これまであまり開かれなかったが、永野新教授誕生を機に毎年一回開くことになった。今回はその第一回で、青木澤君が幹事となり、紫紋の川で花行なわれた。その席上で会の名称を55会と定めた。昭和三十年が一九五五年であることからきている。(世話人 加濃・片山記)

卒業五十年記念

七葉会鶴飼見物



安藤守元 記

物故会員

(内は卒業年度)
四十二年、四十三年度に死去した者

- | | |
|-------------|---------------|
| 伊藤亮彦 (大十二年) | 團田三三 (明四十二年) |
| 中山 繁 (大十二年) | 小川光吉 (明四十二年) |
| 原山伸雄 (大十二年) | 松田昌造 (明四十二年) |
| 川名 兄 (大十二年) | 石井泰吉 (明四十二年) |
| 井上 潔 (大十四年) | 小倉修二 (明四十二年) |
| 巖本 呈 (大十四年) | 松沢末一郎 (明四十二年) |
| 大行慶雄 (昭五五年) | 清水喜一郎 (明四十二年) |
| 安原俊郎 (昭五五年) | 符谷由太郎 (明四十二年) |
| 太田 裕 (昭五五年) | 吉川 正 (明四十二年) |
| 高瀬幸雄 (昭五五年) | 星野友太郎 (明四十二年) |
| 肥後榮吉 (昭五五年) | 竹下林蔵 (明四十二年) |
| 青木喜雄 (昭五五年) | 山内俊彦 (明四十二年) |
| 和田五郎 (昭五五年) | 関島 茂 (明四十二年) |
| 内海清秀 (昭五五年) | 降旗多雄 (明四十二年) |
| 堀内 直 (昭五五年) | 石浜勝一 (明四十二年) |
| 小高達也 (昭五五年) | 中山 綱 (明四十二年) |
| 土肥林二 (昭五五年) | 金沢謙吉 (明四十二年) |
| 大貫謙四郎 (大元年) | 関野紋之丞 (明四十二年) |
| 瀧尾 茂 (大元年) | 関 雄一 (大元年) |
| 蜂谷貞考 (大元年) | 山田鴻平 (大元年) |
| 関口 修 (大元年) | 目崎良純 (大元年) |
| 矢島登太 (大元年) | 市村 安 (大元年) |
| 小関喜平 (大元年) | 長谷川岩造 (明三十八年) |
| 松井 守 (大元年) | 江田 仙 (明四十年) |
| 師岡道三 (大元年) | 小島源十郎 (明四十年) |
| 秋山真雄 (大元年) | 野口耕造 (明四十二年) |
| 富沢千春 (大元年) | |

活性ビタミンB₁₂ コ・カルボキシラーゼ製剤

ストラーゼ錠・注

(組成)錠: 1錠中Co-carboxylaseを10mgおよび20mgを含有する腸溶錠です。

注: Co-carboxylaseを1アンプル中5mg, 10mg, 20mg, および1バイアル中50mgを含有する注射剤です。

(包装)錠: 10mg 100錠・500錠・6000錠/20mg 100錠・500錠

注: 5mg 5A.50A/10mg 10A.50A.200A
20mg 10A.50A.200A/50mg 10vial

(薬価基準)注: 5mg 107.00/10mg 191.00
20mg 332.00/50mg 664.00



キョーリン薬品
東京都千代田区神田新町2-5

新刊

医学出版 洋書輸入 医学書院 113-91 東京・文京・本郷 5-29-11 電話 (03) 811-1101 振替東京 96693

統計学入門

杉田暲道・津田忠美 著
A5 頁139 ¥1,000 円50

病人と病氣

医師たちは考える
Emanuel Goldberger 著
春日豊和・日高英二 訳
A5 頁223 図33 ¥2,000 円90

医学論文の書き方

田中 潔 著
A5 頁83 図7 ¥480 円50

初診の技術

編集 太田 倫・柳下徳雄
浦田 卓・藤沢正輝
B5 頁397 図30 ¥3,800 円120

病歴から診断へ

病歴がきめてとなる疾患
編集 日野原重明・田崎義昭
A5 頁223 図2 ¥1,500 円70

医学英文語法

吉野亀三郎 著
A5 頁321 ¥1,600 円90

臨床診断指針

症候から検査・診断へ
<普及版>

編集 小酒井 望・石橋幸雄
真下啓明・松橋 直
中山健太郎
新書判 頁765 図86 写真19
2版 ¥900 円90

医療保障入門

その歩みと課題
吉田秀夫 著
新書判 頁294 図3 ¥580 円50